

忘れないでハルモニーを

—日本軍「慰安婦」問題で学習会

10日、北とぴあで「忘れないでハルモニーを!—日本軍慰安婦問題解決のために、いつしょに学び、考えてみませんか?」と題する学習会（主催／新婦人北支部・北区母親連絡会）が開かれ、日本共産党の元参院議員、吉川春子さんが講演をおこないました。

【日本の加害の事実と向き合う勇気が日本を救う】

吉川氏は、スライドを使って証拠を

紹介しました。

さらに、日本共産党が他の野党とも共同し問題解決のための法案を国会に提出してきたが、時の政権がことごとくこれを廃案にしてきたとのべ、「過去に目をふさぎ、歴史を塗り替えよう

とする安倍内閣の姿勢は、世界やアジアで対立を生むばかり。日本国憲法を生かした政治で、近隣諸国に信頼される日本をつくりましょう」とよびかけました。

【「慰安婦」問題を男性の問題と受けとめて】

学習会に参加した、そねはじめ前都議は、講演を受けて「日本軍『慰安婦』問題は、『女性問題』ではなく、男性

の人権問題もある。歴史に正面から向き合いながら、私自身も問題解決に力をつくしたい」と発言しました。

5月22日(水)
午後6時開場
都議予定候補も
勢ぞろいします



日本共産党演説会

新しい日本と東京をきりひらへ

日本共産党前都議会議員 そねはじめレポート

5月19日(日) No.70

発行：そねはじめ事務所

〒114-0032 北区中十条2-11-6

Tel: 3907-1135 Fax: 3906-3225



赤羽北「トークのつどい」 —参加者から要望続々と—

11日の土曜日、赤羽北ふれあい館で日本共産党赤羽北支部主催の「トークのつどい」が開かれました。

ながいともこ区議会議員のあいさつに続き、そねはじめ前都議が、憲法、保育、年金、特養ホーム、都営住宅などの問題について、約30分にわたりて話しました。

会場からは「特養ホームはユニット（個室）の料金が高いとのこと



だが、もつと下げる
れないのか」「新たに
軽費老人ホームがで
きたが、月11万円以
上の利用料は高い」「国
際興業バスが半分に
減便され午前中に終
わってしまうのでと
ても困る」などの意
見が寄せられました。

そね前都議は最後に、「みなさん
の声にこたえ要望を実現するため
に、日本共産党を大きくして下さ
い」と訴えました。

※日本共産党北地区委員会は上記の見解を発表しました。

医療と介護の連携強化を —そねはじめ前都議が病院、介護施設を訪問

そねはじめ前都議と党区議団は、16日に開催された「医療と介護を考えるつどい」にむけて、区内の病院や介護施設を訪問し、つどいへの参加を要請するとともに、医療と介護の連携について懇談しました。

9日に訪ねた東京北社会保険病院では、平澤事務部長と雨宮総務課長が応対、来年3月をメドとした病院の譲り受けや、63ベッドの増槽計画の見通しなどについて話をうかがいました。

また同日、あわせて訪問した介護老人保健施設さくらの杜では、秋山事務長代理から介護現場の実態や、行政に対する要望などについて話をうかがうことができました。



そねはじめの
ホームページが
リニューアル

そねはじめ前都議のホームページがリニューアルされました。ぜひ一度、訪れてみて下さい。

<http://sonehajime.com>

福祉・雇用
東京を変える
ふたたび都政に挑戦
日本共産党
前都議会議員(北区)
そねはじめ

ホーム プロフィール ブログ 政策・実績 そねレポート 趣味のコーナー

そねはじめ切り絵の世界「NO. 16」 幼いころ住んだ家に よく似た風景



琴似・西野のかみさんの実家のそばに最近あまり見かけなくなった北海道特有の民家が建っています。二段傾斜の切妻のトタン屋根、板うちの外壁、わきにはぶどう棚が涼しい日影をつくっている下に白い犬小屋。周囲を唐松と白樺の木が囲んでいます。

なぜか無性に懐しく切り絵に描くうちに、3~4歳のころ住んでいた苗穂の国鉄官舎に似ていることに思い当たりました。

当時周囲は緑も多く、家の前に雪を積んだ簡単なそりゲームで道路に滑り出し、馬そりに轢かれそうになりました。父親は東京や仙台・金沢などに転勤。転居を繰り返していましたが、私の記憶にあるのは札幌の家の独特な風景だけです。